

## 第2回審議会意見一覧と対応方向

No.	該当箇所	意見	対応方向について	備考
1	P.14 まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14 ペーシまちづくりの課題で（3）蒲郡駅周辺に特定するのではなく、ほかの地域の開発の考え方、この10年で進めることは示せないか。</li> <li>・それぞれの地区で課題があるが、地区の課題、10年間にできる方向性をうたった方がよい。</li> </ul>	<p><b>P.14 まちづくりの課題に追加</b></p> <p>鉄道駅を中心としてコンパクトな都市構造を形成してきたことを生かすことや、各地域の特性を生かした市街地環境の改善が課題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P.23 将来都市構造において、市内各地域におけるそれぞれの特性を生かした「ゾーン」の方向を示す。</li> </ul>	
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの地区で空き家が増えており、市にお願いしてもなかなか対策ができない、進まない。所有者がわからない、調査ができないという難しい問題であるが、地道に調べていくことが重要である。</li> <li>・商店街でも空き家が発生するが、誰も住んでいないのか、近くに住んでいるのか、いろいろな空き家がある。今まで人口密度が高いことが問題とされたが、人口減で良質な生活空間ができるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画において空き家対策の推進について記述するとともに、具体的な対策は空き家等対策計画に基づいて推進。</li> <li>・基本計画で便利に暮らせる市街地整備の方向を示す。</li> </ul>	
3	P.14 まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が流出しているのは問題であるが、分析はきちんと行う。外国人、観光で来る1泊、日帰りの人が生活者として取り込めないか。減ることは分かっているので、その理由と、まちの魅力づくりをどうするのか考えた方がよい。</li> <li>・人口減少については要因を詳しく分析して、その上で開発をするなどビジョンをつくる。</li> </ul>	<p><b>P.14 まちづくりの課題において人口定住対策を項目として設け記述を追加</b></p>	
4	P.14 まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側の市街地整備も進んでいるが、ビル、商業施設、マンションができてよいのか。蒲郡駅は名古屋、豊橋、岡崎まで</li> </ul>	<p><b>P.14 まちづくりの課題に追加</b></p> <p>鉄道駅を中心としてコンパクト</p>	

		移動時間が短い。これからの社会の中でこういった機能があれば、どうやったら生活の質を上げるのかを考えるべきである。	な都市構造を形成してきたことを生かすことや、各地域の特性を生かした市街地環境の改善が課題です	
5		・蒲郡市全体を見たときの開発、まちづくりの問題点と、空き家対策をどうしていくのか。市でも空き家対策等特別措置法に基づく対応について情報を提供いただきたい。	審議会で説明【建築住宅課、交通防犯課】	
6		・社会情勢の変化と認識とまちづくりの課題の記載事項は連携していない。ここを連携させないと、蒲郡市の将来像を導き出すのでは手順として早い。	・社会情勢については全てに本市として対応できないが、必要な対応・可能な対応を検討した内容を示す。	
7	P 14 まちづくりの課題	・人口減少は避けられないので、ピンチではなくチャンスとしてとらえるのが重要である。高齢者、女性、若者、外国人、マイノリティの活用が必要である。	P. 14 に (1) 人口の定住促進を設ける。 人口が減少する中で定住を希望する外国人の支援、誰もが安心して暮らし続けることができる環境づくり、蒲郡市の良さを認めて他地域から訪れる関係人口の創出など、様々な人口対策を行うことが課題です。	
8		地域における包括的な支え合いと定住の促進 ・女性の活躍がふれられていない(若い世代、高齢者、障害者、外国人) はでてきている。また、ダイバーシティ(多様性)&インクルージョン(包摂)とするならば2030年にはLGBT(性的マイノリティ)の尊重と活躍も必要ではないか。	・基本計画、個別計画において検討	
9	P 14 まちづくりの課題	・社会情勢の変化ではSociety5.0について記述があり、2030年までの達成すべき目標として言及されている計画が多く、コロナのことを考えても確実に5Gの導入も技術革新、生活への対応ということで入れないと、この計画は使えな	P. 14 (7) 足腰の強い行財政の確立に追記 最新技術やICTの活用を支援して産業や生活に変革をもたらす	

		<p>くなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Society5.0 も書いておかないと、計画の改定で大幅に変えることになるので、3つの基本目標に入れていかないといけない。</li> </ul>	<p>Society5.0 の進展に対応することが課題です。</p>	
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 就業に困っている外国人がいるが、蒲郡市のハローワークはポルトガル語が分かる人がいない。市の中で子育て支援課のみではなく、多言語の通訳が必要である。</li> </ul>	<p>P.14 (6) に外国人への生活支援について記述</p> <p>地域社会において外国人住民と共生するための環境を整備するとともに、日本語の習得や生活、雇用の支援を行う必要があります。</p>	
11	P 14 まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本語指導の拠点校として、希望クラスは塩津であり、大塚、三谷地区の生徒は自分で来られない。これからの10年、二つの方法があり、もう1校、大塚・三谷地区に拠点校をつくるか、マイクロバスで母校と行き来する方法もある。市内どこにいても拠点校を生かすことができる。市内どこからも通える制度をつくっていただきたい。また、開設する講座を充実してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本計画において取り組む方向について記述することを検討</li> </ul>	
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害の関係で自助・互助も大事であるが、公助も示してほしい。</li> </ul>	<p>P.5、P.14 (6) に追記</p> <p>地域における自助・共助・公助の強化が課題です。</p>	
13		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自主・自立のまちづくりは、地域において自治力の強化が必要であるが、テーマや課題によっては市を飛び越える。いろいろな課題、防災をやられる方はどこ連携しているのか、どんな資源があるのかについて、直接地域が主体的に情報を得られる社会づくりが必要である。</li> </ul>		
14	P 14 まちづくりの課題	<p>(2) 産業の持続的発展・新産業の振興 (3) 蒲郡駅周辺・市街地環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 例1 society5.0 をはじめとする技術革新についての言及が必要。そして5Gを代表とする情報環境整備が新しい都市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• P14 まちづくりの課題を再整理</li> </ul>	<p>ヒアリングシート</p>

		のインフラとなることを想定した文言を追記すべきでは？		
15		<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画が議論され、駅が多いのでそれを中心に考えていこうという議論が行われている、駅は海に近いので、津波など災害時を考えると人口は北に移っていくがサービスがどうしていくのか、人口などはどう移っていくのか。人口の動きは、サービスの利用者、コーディネーターとも考えいかなないと、利用者側が知らないK P Iでは市民の満足度が上がっていかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画において立地適正化に基づく環境整備を記述する。</li> </ul>	
16	P. 14 まちづくりの課題	<p>(5) 地域自治力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政が市民と協働して強化するという文言をいれるのはどうか。市民だけでもボランティアだけでもたちゆかない。みなで協力・協働することが課題では。</li> </ul>	P. 14 (6) に追記	ヒアリングシート
17	P. 17 将来都市像	<ul style="list-style-type: none"> <li>P. 17 将来の都市像で、キャッチコピーが出ているが、これが今までの蒲郡市の現状やまちづくりの課題、社会の変化から導かれる肝である。一言で要約できるものを審議会、行政職員できちんと考えるべきである。</li> <li>一人ひとりが輝くのは簡単なことであるが、内容は地域に対する愛着を高めと示されている。輝くことは強制されることはなく、自分らしく生きるチャンスとしてとらえてほしい。</li> <li>将来像の文言と基本目標などが全てつながる必要がある。数値目標、などが全ての基本目標とつながらないと将来像がつかない、破綻する。SDGs についても、審議会、職員で考えていくことを注意すべきである。</li> <li>一人ひとりが輝くでなければ、一人ひとりが主人公や一人ひとりが自分の力を生かすがよい。</li> <li>輝くという言葉については、幸せは十人十色、輝きも十人十色で、この輝きがではなく一人ひとりが輝く機会を提供するという問題がある。立ち位置をつかむ機会を提供することが行政の役割であり、結果の平等はあり得ないので、努力をする機会があることが重要である。生き方は個人でそれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来像の説明文の修正</li> </ul>	

		<p>ぞれ異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一人ひとりが輝く」は美しいが安易では。多様な価値観、多様な人々が暮らす蒲郡では、「輝く」の意味もそれぞれ違う。輝くことを強制するのではなく「一人ひとりが自分の力を生かす」「生きがいを実現」「活躍できる」人権の尊重と保障、機会の平等をうたう方がよいのでは。市民の自由と自立を保障した上でゆるやかに包摂(つながる)し共生していくことが重要だと思う。「輝く」を言い換えるならば「主人公」「活躍できる」で代替可能では？</li> <li>・機会の平等はとても大事である。外国人の生徒がいる中で、機会の平等が大事。地域によっても公民館、体育館が使える地域、使えない地域があるのはよいことではない。</li> </ul>		
18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットなどで個々の満足度が重視されており、地域への参加は子ども達にメリットを感じてもらえない。民生委員にしても年間通して手当はとても少なく、現在では通行しないので、予算確保などを要望する。</li> <li>・小中学校で福祉のボランティア大会を行っている。退職して元気な若い高齢者にも福祉にも目を向けて活躍いただけると、蒲郡はやさしい町となる。子どもたちを見守っていけるやさしい町になるとよい。</li> <li>・地域でボランティア精神を担っていく精神を伝えていく必要がある。民生委員はどんな仕事をしているのかわからない、費用も少ない。それを上回る達成感が必要であり、自分達ができることをやるということを若い人に伝えたい。</li> </ul>	<p>P. 14 (6) の記述に追記</p> <p>高齢化に伴い地域の担い手の確保が難しくなりつつあり、地域において子どもの頃から地域活動やボランティアに親しむことができるように、世代をつないでいくことが課題です。</p>	
19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市から何か支援をいただくと勇気をもってボランティアが続けられる。社会福祉協議会の中では総合的な相談窓口を持っていくべきであると考え。少なくとも相談窓口では、行政も縦割をなくすことを計画の中で進めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画で記述を検討</li> </ul>	
20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村連携は1行しか示されていない。蒲郡は東三河の一員ということ間違いはないが、西三河との懸け橋となるほか</li> </ul>	<p>P. 15 に追記</p> <p>東三河を中心とした広域連携を</p>	

		の町にはない立ち位置がある。いろいろな事業を西三河との連携について蒲郡を通じてできるということを総合計画の中でうたったほしい。	一層強化して、効率的で質の高い行政サービスを実現することや、本市の特性を生かして東三河と西三河・名古屋方面との連携を図る役割を発揮することが課題です。	
21		・5Pの東南海・南海地震については、どの程度シミュレーションできているのか。どの程度の地震が来て、建物、防潮堤が崩れるのか市の方のシミュレーションを教えてください。	・基本計画にて記載を検討 審議会で説明 <b>【防災課】</b>	
22		・地域の課題の書きぶりが生ぬるい、実態の深刻さを反映していないのではないかと。たとえば、11Pで若者アンケートの結果で、将来の居住の移行は半数を超えると示しているが、半分ぐらいは出ているという危機感を示してもらいたい。  ・14Pのまちづくりの課題で産業のところ、農業・工業・観光は強みとなっているということであるが、問題があるのではないかと。それを示さないと何をやってよいのか分からなくなる。課題があると対応方向が考えられるのであり、課題の書き方がリアルな感じがしない。	<b>P. 11 の記述修正</b> 将来、蒲郡市で暮らしたいは中学生で59%、市民の高校生で55%となっていますが、一方で40%以上の中高生が暮らしたくないと思っており、人口減少が大きく進む可能性があります。 <b>P. 14、15 の課題の記述の見直し</b> 農業、商業、観光が雇用を創出して定住環境を高めるように、後継者の育成や付加価値を高めるための農漁業と飲食等の商業、観光との連携を強化することが急務です	
23		・蒲郡らしさをあまり感じられない。蒲郡としてどういう町を目指しているのかについて、もう少し具体的に分かるように説明いただきたい。	<b>7まちづくりの課題においてより具体的に記載</b>	
24	P. 21 基本目標	「蒲郡らしさ」について蒲郡市は人（子ども）を大切にしてきたと思う。現在の35人学級の施策が一つの例。これによって、学級担任一人に対	<b>P. 21 子育てについて追記</b>	ヒアリングシート

		<p>して、子どもの人数が減り、きめ細やかに指導・支援ができる。また、古くから特殊学級を適性学級（現在は特別支援学級）とし、その子の適性に合った指導・支援をしてきた。外国籍の子どもに対しても通訳を置いていただき、日本語の指導と学校生活の支援をすることができた。今でいう「ダイバーシティ」にいち早く取り組んできた。人口8万人という規模が大きすぎず、小さすぎもしない規模で、小回り良く、子どもたち（人）の支援ができるのではないか。人口減少をチャンスととらえれば、小さくてもきめ細やかに、一人ひとりを大切にしたいサービス・支援ができると思う。これが「蒲郡らしさ」と思う。</p>		
25	P.21 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒲郡市の現状、特徴、まちづくりの課題を解決する目標と施策をここにすべて対応するようにあげなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に記載を修正。基本目標は現状、特徴、課題などの全てを網羅することは難しく、市の施策の大きな方向性を示す。</li> </ul>	ヒアリングシート
26	P.21 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（3）に「子育てしやすいまち」について、記述してほしい。 女性が社会の一員として活躍できるように、「安心して子どもを産み、育てることができる」ことが重要。蒲郡市の子ども子育て会議の委員となり、充実ぶりを知った。「子どもと保護者」を大切にしている「蒲郡らしさ」だと思う。ただ、サービスがあっても使われないという現状もあり、周知が課題となっている。蒲郡も子育てしやすいまちになれるのではないか。</li> <li>・マイノリティの活躍は市役所からすべき。女性職員や若手の活躍、障害者や外国人の雇用をどうするか。市役所にできないことを企業や市民に押し付けても仕方がない。</li> </ul>	<p>P.21 子育てについて追記</p>	ヒアリングシート
27		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響についての記載が少なかったように思える。</li> <li>・コロナによって、在宅ワークが可能となった。都市圏に在</li> </ul>	<p>P.1 策定の趣旨に修正及び追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別施策などに必要性は記述する</li> </ul>	ヒアリングシート

		住しなくても仕事が可能な人の流入をねらうためには、社会インフラとして5Gや子育て支援が必要。また、多文化共生やダイバーシティといった価値観も若い世代に受け入れられる必要があるのではないかと。	が、市町村が可能な施策を見極める。 ・多文化共生などの啓発は個別施策で検討	
28	P.17 将来都市像	将来都市像について「一人ひとり輝く」についての意味として、生き方を強制されない、自分らしく生きる、平等にチャンスがあるなどの意味が考えられる。	P.17 将来都市像の補足に追記	ヒアリングシート
29	P.23 将来都市構造	P23 将来都市構造 p23 自然軸と交通軸があるが、そこにゾーン形成という文言がわかりにくい。そもそも自然と交通だけでは産業の視点がない。産業には、中小企業や小売り、映画撮影等の誘致など若い経営者の視点を入れないと失敗するのでは？住み続けたいと思えるには、仕事や娯楽が蒲郡市近辺に必要な	・ゾーンは都市の土地利用などの大きな方向を示すものとして図示で補足予定 ・軸は都市構造で骨のようにつながるイメージで図示。産業はゾーンで配慮し、また、産業振興については個別施策で記述する予定	ヒアリングシート
30		P.8 インバウンドは令和2年度は消滅している。厳しい状況であることを記載してはどうか。	P.4、P.8のインバウンドに関する記述を変更	ヒアリングシート